

佐渡におけるエンレイソウの変異と奇形

渡 辺 洋 子

佐渡の山野には、エンレイソウが各所に生えているが、個体による様々な変異がみられるので、ここでは、これまでに出会った花色の変異と奇形について紹介する。がくが緑で葯が白色のトイシエンレイソウについては、すでに記録している（渡辺 2009）が、他の個体と比較のためにここでも掲載した。

花色の変異



①トイシエンレイソウ（がくが緑、葯が白色）
梅津



②がくはほぼ緑で、雄蕊と雌蕊の黒いもの
梅津



③がくが緑で、実（子房壁）が黒いもの
金剛山



④がくがチョコレート色で、実が緑のもの
梅津



⑤がくが緑で、実が黒いもの
梅津

花・葉の奇形



①がくが4枚のもの
新保



②がくが5枚のもの
アオネバ



③花卉が1枚あるもの
アオネバ



④1茎に葉が7枚、花が2個
梅津



⑤帯化現象（茎頂に数個の花）
椿



⑥帯化現象（茎頂に数個の花）
椿



⑦帯化現象（花の中心に数個の子房）
富月寺



⑧帯化現象（茎に多数の葉）
富月寺

〔文献〕

渡辺 洋子（2009）佐渡における植物観察記録7 新津植物資料室年報 2008：26・27